

2024年10月入学

東京農工大学大学院工学府博士後期課程（博士）国際専修 大学院博士後期課程共同サステナビリティ研究専攻（東京農工大学）

ASEAN・日本連携エンジニアリーダー育成プログラム
国費外国人留学生・私費外国人留学生 学生募集要項

大学院工学府博士後期（博士）課程は、全専攻に国際専修（英語修了コース）の教育課程を設置し、また、大学院博士後期課程共同サステナビリティ研究専攻は全ての授業を英語で実施し、ASEAN諸国からの優秀な外国人留学生を中心とした超スマート社会を支える工業製品のイノベーティブな付加価値を創出できるスキルを持ったエンジニアリーダーを育成します。

I 専攻分野及び募集人員

1 専攻分野および指導予定教員

- (1) 応募者はP15～の工学府教育研究分野の中から希望する専攻および指導予定教員を選択して下さい。
- (2) 出願に先立ち、応募者は必ず指導予定教員と相談し、入学及び希望する研究課題について了承を得て下さい。

2 募集人員

- (1) 大学推薦による国費外国人留学生 2名
- (2) 私費外国人留学生 4名

※（1）と（2）は併願可能です。

II 出願資格および条件

P2～P7 参照 大学推薦による国費外国人留学生
P8～P10 参照 私費外国人留学生

III 共通事項

P11 参照

IV アドミッションポリシーおよび教育研究分野

P12～参照

II 出願資格および条件

「大学推薦による国費外国人留学生」の出願資格および条件

1 対象

大学院レベルの外国人留学生として、新たに海外から留学する者として。

※学業成績係数が2.30以上であり、奨学金支給期間中の在籍課程においてもこれを維持する見込みがある者として。さらに下記「(6) 語学能力」のいずれかの条件を満たす者として。

2 国籍

(アフリカ)

アルジェリア、アンゴラ、ウガンダ、エスワティニ、エジプト、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボベルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スーダン、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、南スーダン、モザンビーク、モーリシャス、モーリタニア、モロッコ、リビア、リベリア、ルワンダ、レソト

(アジア)

インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ、インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、モンゴル

(中南米)

アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア

(中東)

アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、ヨルダン、レバノン、パレスチナ

(太平洋)

オーストラリア、キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア

(欧州)

アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イタリア、ウクライナ、ウズベキスタン、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、北マケドニア、キプロス、ギリシャ、キルギス、クロアチア、コソボ、サンマリノ、ジョージア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルクメニスタン、ノルウェー、バチカン、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポルトガル、マルタ、モナコ、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルク

(北米)

アメリカ、カナダ

3 年齢上限

1989年4月2日以降に出生した者とします。

※上記年齢要件の例外は国籍国の制度・事情（兵役義務・戦乱による教育機会の喪失等）により資格年齢時に応募できなかった者と文部科学省が判断した場合に限られます。個人的事情（経済状況、家族の事情、健康状態、大学又は勤務先の都合等）は一切認めません。ただし、上記年齢要件を満たさないヤング・リーダーズ・プログラム修了生が博士後期課程への入学を希望する場合は、同プログラム修了後5年以内に限り、応募を認めます。

4 学歴

以下のいずれかに該当する者とします。

- 1) 修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月(10月)の前までに取得見込の者。
- 2) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者。

5 専攻分野

出身大学において専攻した分野又は関連した分野とし、本学府で研究が可能な分野であること。

6 語学能力

英語の能力として、以下のいずれかの条件を満たす者。

○英語

- ① 英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。
- ② 日本の大学院博士課程（後期）への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。
- ③ ①相当以上の英語能力を有していると本学府において判断できる者。

7 健康

日本留学について心身ともに支障がないと本学府が判断した者とします。

8 渡日時期

2024年10月1日～10月14日までの間で本学府の指定する期日までに渡日してください。

9 その他注意事項

- 1) 次に掲げる事項の一つでも該当する者については対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。
 - ① 渡日時及び奨学金支給期間において、現役軍人又は軍属の資格の者。
 - ② 文部科学省又は本学府の指定する期日までに渡日できない者。
 - ③ 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（渡日後辞退者を含む）。ただし奨学金支給最終月の翌月から奨学金支給開始月までに3年以上の学業又は職務経歴がある者、又は最後に受給した日本政府（文部科学省）奨学金が日本語・日本文化研修留学生（帰国後に在籍大学を卒業した又は卒業見込みの者に限る。）、日韓共同理工系学部留学生、ヤング・リーダーズ・プログラム留学生のいずれかであった者はこの限りではない。なお、文

部科学省学習奨励費（MEXT Honors Scholarship）は日本政府（文部科学省）奨学金留学生にあたらなため、過去に受給歴があっても応募可能。

- ④ 日本政府（文部科学省）奨学金制度による他の奨学金プログラムとの重複申請をしている者。
- ⑤ 申請時に日本に滞在（日本に住民票がある）している者及び申請時から奨学金支給期間開始前に日本の大学等に在籍、又は在籍予定の者。
- ⑥ 奨学金支給開始後に日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む）から奨学金を受給することを予定している者。
- ⑦ 「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者。
- ⑧ 申請時に二重国籍者で、渡日時まで日本国籍を離脱したことを証明できない者。
- ⑨ 申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ、フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者。
- ⑩ 博士課程修了者については、学位取得を目的としない者。

2) 大学修了見込みで出願した者で、2024年9月までに卒業できない者は入学を取り消します。

3) 4学歴の1)に該当しない場合、事前に審査を受ける必要があるため、2023年12月27日までに本専攻の指導教員予定者に必ず申し出てください。

4) 日本留学中、日本の国際化に資する人材として、広く地域の学校や地域の活動に参加することで、自国と日本との相互理解に貢献するとともに、卒業後も留学した大学と緊密な連携を保ち、卒業後のアンケート調査等にも協力する他、帰国後は在外公館等が実施する各事業に協力することで、自国と日本との関係の促進に努める者を採用いたします。

応募手続

すべての応募者はあらかじめ希望する指導教員予定者と連絡を取り合い、受入許諾を受けてから出願してください。

1) 提出先

2024年1月15日（必着）までに、本学府の指導予定教員宛てに、国際郵便等で郵送してください。

2) 提出書類

- ① 日本政府奨学金留学生申請書（所定様式）
- ② 専攻分野及び研究計画（所定様式）
- ③ 研究業績（所定様式）
- ④ 学位論文概要等（様式自由・修士論文の概要を和文もしくは英文600語未満にまとめてください。）
- ⑤ 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦状
（東京農工大学学長宛てのもの。原則として、所属大学等の専用便せんを使用し公印を押したものの。）
- ⑥ 本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書
- ⑦ 最終出身大学（大学院）の成績証明書
- ⑧ 最終出身大学（大学院）の修了証明書または修了見込証明書または学位記
- ⑨ 最終出身大学（大学院）において学業優秀であることを証明する学業成績資料等
（例えば、GPA、ABC のクラス分け、具体的な順位（○人中第○位）等、最終出身大学における成績が明確に判る指標など。）
- ⑩ 【6 語学能力】のいずれかの条件を満たす根拠となる書類（例:TOEFL、IELTS等の証明書）
（【6 語学能力】の①または②を証明する書類がない場合は、至急指導教員予定者へご連絡ください。）
- ⑪ 健康診断書（原則として、書類提出日から遡り6か月以内に受診したもの。）（所定様式）
- ⑫ パスポートの写し（取得済みの場合のみ）
- ⑬ 入学検定料30,000円（本学所定の入学検定料払込用紙により支払ってください。
なお、海外の応募者は指導教員予定者の指示に従ってください。）
※国費外国人留学生に採用された場合、入学後に入学検定料を返金します。

3) その他注意事項

- i) 申請書類は、すべて日本語又は英語により、出来るだけタイプを用いて、A4判両面印刷に統一して作成してください。（その他の言語により作成する場合は、日本語もしくは英語による訳文を添付してください。）
- ii) 提出書類は原則として返却しません。
- iii) 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限が過ぎた場合は受理しません。
- iv) 提出書類及びその様式は変更することがあります。

4) 選考及びプログラムの目的

- i) 提出された書類及び口述試験により可否を判定します。口述試験日時は2024年1月17日～22日までの間のいずれかの日を予定しています。口述試験の詳細については、指導予定教員から通知します。

- ii) 可否については2024年2月下旬までに、指導予定教員から通知します。
- iii) 合格者は東京農工大学から国費外国人留学生候補者として文部科学省に推薦します。文部科学省の審査に通過した後、奨学金留学生としての採用が決定します。奨学金採用通知は、文部科学省の通知に基づき、指導予定教員から本人に7月頃に通知します。
- iv) 授業及び研究指導は主として英語により行い、3年間で博士（工学）または博士（学術）を修得させることを目的とし、在籍身分は正規の大学院生とします。

5) 奨学金

奨学金支給期間は2024年10月からの3年間です。また、2024年度の奨学金月額はまだ未定であるため、参考として2023年度の奨学金月額を以下のとおり示します。（予算、物価等の状況により、支給額は各年度で見直される場合があります。）

2023年度実績 月額148,000円

ただし、大学を休学又は長期に欠席した場合、その期間の奨学金は支給されません。

なお、次の場合には、原則として奨学金の支給を取りやめます。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがあります。

- i) 申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。
- ii) 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
- iii) 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
- iv) 大学における学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。
- v) 学業成績等不良や停学・休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- vi) 「留学」の在留資格を新たに取得せずに渡日したとき又は「留学」の在留資格から ~~が~~他の在留資格に変更になったとき。
- vii) 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く）の支給を受けたとき。
- viii) 採用後、進学に伴う奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき
- ix) 当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
- x) 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

6) 旅費

- i) 渡日旅費について、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港から成田国際空港までの下級航空券を交付します。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港使用料、空港税、渡航に要する特別税、日本国内の旅費等は留学生の自己負担とします。（「留学生の居住地」は原則として申請書に記載された現住所とします。）また、国籍国以外からの航空券は支給しません。
 - ii) 帰国旅費について、奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生については、本人の申請に基づき、成田国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港までの下級航空券を交付します。
 - iii) 帰国する留学生の日本での居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とします。なお、自己都合及び上記5)奨学金 i～x」の事由により奨学金支給期間終了月前に帰国する場合は帰国旅費を支給いたしません。
- IV) 渡日及び帰国の際の保険料は自己負担とします。
- V) 奨学金支給期間終了後も引き続き日本に滞在する場合（例：日本での進学、就職）、一時帰国する際の帰国旅費は支給しません。

7) 教育費

大学における入学料及び授業料等は東京農工大学が負担します。

8) 入学時に要する経費

i) 入学料、授業料は徴収しません。

ii) 学生教育研究災害傷害保険制度は、学生の正課および課外活動中における不慮の災害事故により身体に傷害を被った場合の補償制度であり、新入生は全員加入してください。

保険料は、3年間分で2,600円です。

iii) 学生賠償責任保険制度は、学生の正課、学校行事およびその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償制度であり、新入生は学生教育研究災害保険と共に全員加入してください。保険料は3年間で5,400円です。また、別途、消費生活協同組合への加入料の5,000円が必要となりますが、修了時に返金します。

※なお、保険料、加入料は変更になる場合があります。

「私費外国人留学生」の出願資格および条件

1 対象

大学院博士課程レベルの外国人留学生として海外から留学する者及び在日の者で、本学工学府にて博士の学位取得を希望する者。

2 国籍

国籍は問いません。

3 年齢上限

年齢は問いません。

4 学歴

以下のいずれかに該当する者としてします。

- 1) 修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（10月）の前までに取得見込の者。
- 2) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者。

5 健康

心身ともに大学における学業に支障のない者としてします。

6 語学力

以下のいずれかの条件を満たす者。

○英語

- ①英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。
- ②日本の大学院博士課程（後期）への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。
- ③ ①相当以上の英語能力を有していると受入大学において判断できる者。

7 渡日時期

2024年10月14日までに渡日してください。

8 その他注意事項

- 1) 大学修了見込みで出願した者で、2024年9月までに修了できない者は入学を取り消します
- 2) 4学歴の1)に該当しない場合、事前に審査を受ける必要があるため、2023年12月27日までに本専攻の指導教員予定者に必ず申し出てください。

応募手続

すべての応募者はあらかじめ希望する指導教員予定者と連絡を取り合い、受入許諾を受けてから出願してください。

1) 提出先

2024年1月15日（必着）までに、本学府の指導予定教員宛てに、国際郵便等で郵送してください。

2) 提出書類

- ① 2024年度東京農工大学大学院工学府博士後期課程国際専修入学申請書（所定様式）
- ② 専攻分野及び研究計画（所定様式）
- ③ 研究業績（所定様式）
- ④ 学位論文概要等（様式自由・修士論文の概要を和文もしくは英文600語未満にまとめてください。）
- ⑤ 最終出身大学(大学院)の修了証明書または修了見込証明書・成績証明書・学位記等証明書
- ⑥ 本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書（コピーでの提出可）
- ⑦ 【6 語学力】のいずれかの条件を満たす根拠となる書類（例:TOEFL、IELTS等の英語テストスコア証明書）
（【6 語学能力】の①または②を証明する書類がない場合は、至急指導教員予定者へご連絡ください。）
- ⑧ 健康診断書（原則として、書類提出日から遡り、6か月以内に受診したもの。）（所定様式）
- ⑨ パスポートの写し（取得済みの場合のみ）
- ⑩ 入学検定料30,000円（本学所定の入学検定料払込用紙により支払ってください。
なお、海外の応募者は指導教員予定者の指示に従ってください。）

3) その他注意事項

- i) 申請書類は、すべて日本語又は英語により、出来るだけタイプを用いて、A4判両面印刷に統一して作成してください。（その他の言語により作成する場合は、日本語もしくは英語による訳文を添付してください。）
- ii) 提出書類は原則として返却しません。
- iii) 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限が過ぎた場合は受理しません。
- iv) 提出書類及びその様式は変更することがあります。
- v) 入学検定料払込用紙は、事前に小金井地区事務部学生支援室入学試験係あてにご請求下さい。払込み後、「入学検定料払込受付証明書【大学提出用】」を出願書類に同封してください。

4) 選考及びプログラムの目的

- i) 提出された書類及び口述試験により合否を判定します。口述試験日時は2024年1月17日～22日までの間のいずれかの日を予定しています。口述試験の詳細については、指導予定教員から通知します。
- ii) 合否は、2024年2月下旬までに指導予定教員から通知します。
- iii) 授業及び研究指導は主として英語により行い、3年間で博士（工学）または博士（学術）を取得させることを目的とし、在籍身分は正規の大学院生とします。

5) 入学時に要する経費

- i) 入学料282,000円
- ii) 授業料後期分（10月～3月）267,900円（年額535,800円）
（入学料及び授業料は改定されることがあります。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。）
- iii) 学生教育研究災害傷害保険制度は、学生の正課および課外活動中における不慮の災害事故によって身体に傷害を被った場合の補償制度であり、新入生は全員加入してください。
保険料は、3年間分で2,600円です。

- iv) 学生賠償責任保険制度は、学生の正課、学校行事およびその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償制度であり、新入生は学生教育研究災害保険と共に全員加入してください。保険料は3年間で5,400円です。また、別途、消費生活協同組合への加入料の5,000円が必要となりますが、修了時に返金します。
- ※なお、保険料、加入料は変更になる場合があります。

Ⅲ 共通事項

- 1 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況について、あらかじめできるだけ研究しておいてください。また、授業以外の日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておかなければなりません。
- 2 大学案内、研究、教育内容等については、ホームページを参考してください。
(<https://www.tuat.ac.jp/en/>)
- 3 出願時に入手した個人情報は、国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程に則って適切に取り扱います。
- 4 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合には、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が国際平和・安全の維持の観点から不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。
- 5 その他、本募集要項に関する問い合わせは、文書により行ってください。

【問い合わせ先】

〒184-8588

日本国東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学大学院工学府 小金井地区事務部学生支援室入学試験係

E-MAIL: tnyushi@cc.tuat.ac.jp

FAX: (+81) 42-388-7013

IV アドミッションポリシーおよび教育研究分野

工学府

1. 学びの目的

工学府は、自然環境と科学技術に関心を持ち、常に自己を啓発し、広い知識と視野を持ち、高い自主性と倫理性に支えられた実行力を有し、国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生を国内外から広く受け入れる。最近の科学技術の発展は目覚ましいものがあり、技術・情報が高度化、先端化すると同時に種々の専門分野に関連する境界領域や総合領域における発展も著しい。工学府は、このような時代の要請に対応する科学と工学の基礎学問から先端応用技術に至る広範囲の研究教育を教授し、幅広い学識と高度の研究能力を有する独創性豊かな学術研究者、専門技術者を養成することを目的と特色としている。

2. アドミッションポリシー

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、工学府は、以下のような人材を求める。

- ①幅広い視野と専攻分野を学ぶための十分な基礎学力をあわせもち、高い倫理性を身につけた者。
- ②大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、研究を通じて主体的に考え、他人と協力・協働して、研究課題の解決や社会の発展に貢献する意識の高い者。
- ③人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有する者。

生命工学専攻

国際性、コミュニケーション能力、国内外の学会発表や論文発表ができる能力を身につけさせ、最先端の生命工学の専門家として、現代社会のニーズに即応して活動でき、新たなニーズの発掘とシーズの発見能力に富んだ、専門家として社会の中核で活躍できる研究者・技術者の養成を目標とする。よって、次のような人材を求める。

- ①生命工学分野の最先端の研究に取り組むための化学・生命科学・工学に関する高度な専門知識と学力を持ち、分野を先導する研究者に不可欠な俯瞰的な視点と高い倫理性を身につけた者。
- ②生命工学分野の最先端の研究に対する探求心を持ち、学際的かつ国際的に協力・協働して、社会的に貢献したいという強い意志を持つ者。
- ③人類が直面している諸課題に対し、生命工学分野の最先端の専門知識や高度な解析能力・洞察力に基づいて主体的かつ論理的に研究課題を設定し、技術革新や未踏の技術の立案・独創的な先端研究に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④研究成果を国際的に発信するために必要な優れた語学力と高いコミュニケーション能力を有する者。

生体医用システム工学専攻

現代医療の根幹を支える生体医用工学の先端技術および関連する専門知識を修得させるとともに、異分野の専門家との協働を通じて、バイオメディカルイノベーションプロセスに基づいた実践的な研究開発能力を有し、多種多様な産業分野のシーズを医療・ヘルスケア機器開発に橋渡しできる、高度で知的な素養を備えた、国際社会でリーダーとして活躍できる研究者・技術者の養成を目標とする。よって、次のような人材を求める。

- ①生体医用工学分野を学ぶための幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、高い倫理性を身につけた者。

- ②自然科学に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、生体医用工学分野の研究に関心があり、それらの分野での活動を通じて主体的に考え、専門分野の境界を越えた複数の研究者、技術者、専門家等と協力・協働して、研究課題の解決や社会の発展に貢献する意識の高い者。
- ③人類が直面する健康・医療・衛生等の諸課題に対し、多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、新しい研究領域や医療・ヘルスケア技術開発につながる研究に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語および英語による高いコミュニケーション能力を有する者。

応用化学専攻

自然・生命・環境・エネルギー等の分野に関連する化学者・材料科学者として、高度専門的な科学技術の発展を国際的に先導し、安全安心な持続型社会の形成に貢献する研究者・技術者の養成を目標とする。よって、次のような人材を求める。

- ①化学および物理分野や関連分野の体系的かつ豊かな基礎学力を有し、研究者や技術者に必要な倫理観を有する者。
- ②化学物質に対して、原子・分子レベルの視点から新しい価値を創出し、その分野の世界トップレベルの専門家として社会的・国際的に貢献する意欲と積極性に富んだ者。
- ③自然・生命・環境・エネルギー等の分野に関連する化学・材料科学分野において、学術的・産業的な観点から自ら研究課題を設定し、豊かな知識を総合して主体的に研究に取り組むことで、未踏の学理の追究、新しい研究領域や科学技術の開拓に果敢に挑戦する意欲を有する者。
- ④日本語または英語での優れたコミュニケーション能力を有し、世界に向けて研究成果の発信ができる者。

化学物理工学専攻

化学工学と物理工学を統合的に理解することで、エネルギー、環境、新素材等に関連する諸問題を解決する能力と、解決過程において先導的役割を果たす高度専門的指導力とを有し、持続型社会の形成に貢献し社会的・国際的に活躍する研究者・技術者の養成を目標とする。よって、次のような人材を求める。

- ①化学・物理・数学・英語等、化学工学・物理工学分野を学ぶための十分な基礎学力と修士レベルの研究能力を持つとともに、幅広い視野と高い倫理観を身につけた者。
- ②エネルギー・地球環境・医薬/食品・素材/材料、あるいはそれらの課題解決の基盤となるプロセス技術・計測技術等に関連する化学工学・物理工学分野の研究に関心と研究実績があり、これらの1つ以上の分野での世界最先端の研究活動を通じて社会的・国際的に貢献したいという意欲を持つ者。
- ③人類が直面している諸課題に対し、化学工学・物理工学の統合的理解と活用によって多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、その課題の解決に向けて一人の自立した研究者として果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有し、口頭および文章で研究の議論を行うことができる者。

機械システム工学専攻

数学・物理学の高い基盤的解析能力と機械システム工学の幅広く深い専門知識に基づいて、環境と調和して持続発展可能な科学技術立脚社会をグローバルスケールで実現するための Unique & Best な先端的機械システムを設計・創造し、世界の社会・文化に関する深い理解・洞察と豊かなコミュニケーション能力で国際的に活躍できる研究者・技術者の養成を目標とする。このために、次のような人材を求める。

- ①機械システム工学の最先端の研究に取り組む高い学問的応用能力があり、専門分野での国際的活動を通じて人類・社会に貢献したいという強い意志を持つ者。
- ②数学・物理学ならびに機械システム工学分野において高度な解析能力・専門知識・洞察力に基づいて問題を発見・解決する能力を有するとともに、新しい研究領域や融合的領域における研究課題に対応できる柔軟な思考力を持つ者。

- ③機械システム工学の各専門分野において、自ら開発目標を発見し、実験・解析のルーティンを具現化し、考察・議論を展開できるような知的な好奇心と洞察力を身につけている者。
- ④研究成果を国際的に発信するために必要な語学力および科学技術の多様化を担える適応能力を持つ者

知能情報システム工学専攻

現代社会の根幹を支える知能情報システム工学の先導的な学識を教授し、自立した研究者に相応しい課題発掘能力、実践的研究能力、技術開発の展開能力、国際性と情報発信能力、社会ニーズに対する柔軟性などを滋養して、実践的な研究開発能力を有する研究者・技術者の養成を目標とする。よって、次のような人材を求める。

- ①幅広い視野と知能情報システム工学を学ぶための十分な基礎学力をあわせもち、高い倫理性を身につけた者。
- ②知能情報システム工学の分野の研究に関心があり、それらの分野での活動を通じて社会的・国際的に貢献したいという意識が高い者。
- ③人類が直面している諸課題に対して、知能情報システム工学に関する基礎知識に基づいて多面的に考察・判断して研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢に挑戦する意欲のある者。
- ④日本語、外国語を問わず、高いコミュニケーション能力を有する者。

共同サステナビリティ研究専攻

共同サステナビリティ研究専攻は、東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の連携共同によって、それぞれの大学に設置する標準年限3年の大学院博士課程です。

アドミッションポリシー

共同サステナビリティ研究専攻の養成する人材像及び教育課程での学修において求められる資質、素養、能力等は、以下のとおりです。

- ・貧困、紛争、食料・資源、エネルギー・環境、情報・ICTなどの地球規模の課題の解決に貢献したいという熱意を持ち、将来、国際社会の現場で活躍したいという意欲がある。
- ・学際的・分野横断的な研究を行いうる柔軟かつ論理的な思考力と、研究遂行に必要となる基礎的学識、専門性、語学力を有している。
- ・多文化や多様な価値観を受容できる寛容さをもって文化や価値観が異なる環境に適切に対応できる適応力を有し、そうした環境においても自身の専門性を駆使しながら、広範な視野と高い倫理観をもって能動的に行動できるタフな精神力と実行力を備えている。

教育研究分野

（教員紹介）

出願に先立ち、応募者は必ず指導予定教員と事前に相談すること。

